

第12期末 (2016年8月31日)	
基準価額	14,686円
純資産総額	10,667百万円
第12期	
騰落率	-6.9%
分配金(税込)合計	0円

(注1) 基準価額は1万円当たりで表示しています。  
(注2) 純資産総額の単位未満は切り捨て表示しています。  
(注3) 騰落率は小数点以下第2位を四捨五入しております。

- 投信法の改正により、2014年12月以降、従来の運用報告書に代えて交付運用報告書を交付することと変更されております。
- 本交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、ありがとう投信株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードすることができます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、右記お問合せ先までお問い合わせください。

**【運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法】**  
右記ホームページにアクセス頂き、「ありがとうファンド」-「運用状況・レポート」-「運用報告書」とお進みください。

# ありがとうファンド

(愛称：『ファンドの宝石箱』)  
追加型投信/内外/資産複合

## 交付運用報告書

第12期(決算日 2016年8月31日)  
作成対象期間：2015年9月1日～2016年8月31日

### ●受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、皆様の「ありがとうファンド」は、2016年8月31日に第12期の決算を行いました。第12期も当ファンドは、長期国際分散投資で世界経済及び企業の成長を享受すべく投資先を厳選して運用を行って参りました。

ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。



東京都台東区上野3丁目19番4号 サカイビル  
ホームページ <http://www.39asset.co.jp>

### ◆お問合せ先

ありがとう投信株式会社

TEL. 0800-888-3900 (フリーコール)

受付時間：8:30～17:30 (土日祝日を除く)

## お客様へのメッセージ

### 長谷 俊介（代表取締役社長）

2004年9月1日に約1億6千万円の純資産でスタートした『ありがとうファンド』は、無事に第12期の決算を迎えることが出来ました。これもひとえに皆さまのご支援の賜物であると感謝しております。誠にありがとうございます。

干支で言えば、一つの節目を過ぎて新たなサイクルに入っておりますが、長期国際分散投資による資産運用の必要性はますます高まっているように感じます。日本経済は少子高齢化が加速し社会保障費が増大していく中、財政は今後ますます苦しくなり、将来の年金を国だけに頼れない状況は誰の目にも明らかです。自助努力による老後の資産形成の必要性が高まって来ている中で、今年5月には、確定拠出年金法が改正されて来年1月から原則60歳未満のすべての方が加入できるように対象者が拡大されます。また、金融庁の平成29年度税制改正要望項目では、非課税期間を20年とする積立NISAの創設も要望項目として挙げられており、長期・積立投資による老後の資産形成を税制面からもサポートする流れが大きくなってきております。

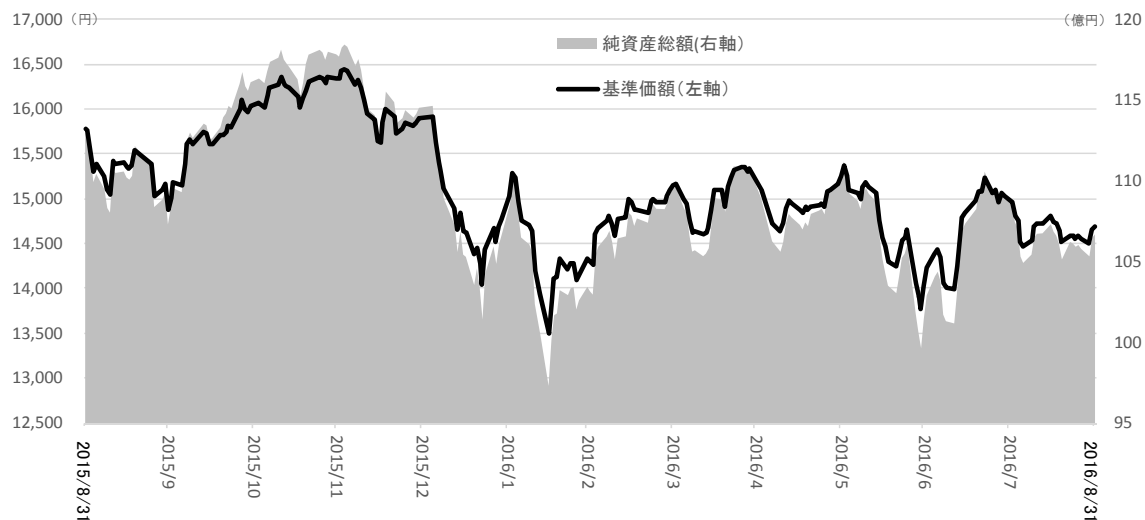
そのような中で弊社は創業の原点に回帰し、これからもお客様の資産運用を一生涯サポートしていけるように、社員一丸となって努力して参ります。今後ともありがとうございます投信をご愛顧頂きますようお願い申し上げます。

### 真木 喬敏（ファンドマネージャー）

リーマンショックから8年が経とうとしています。その影響は米国市場のみならず、欧州危機など世界経済に様々な影響を与えました。そういった悪循環を断ち切るために、主要国政府は様々な金融緩和を駆使して、経済の安定を図ってきました。その金融緩和についても、出口が見えてきた国・地域、まだまだ追加緩和が必要な国・地域、一度は緩和を緩めるも再び緩和が必要になる国・地域など、8年前に始まった衝撃は形を変えてまだ尾を引いています。本来であれば、株価というものはその企業の成長性を織り込むものですが、このような非連続の連続が続く市場環境の中では、それもなおさら難しくなってきました。そんな未知の環境だからこそ、長期国際分散投資アクティブファンドとしての価値が試されると考えております。市場全体の流れに縛られることなく、市場全体が不透明な環境下でも成長していく企業の成長性を享受できるファンドを確立すべく運用を続けたいと思いますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

## 運用経過のご説明

### ○当期中の基準価額等の推移 【2015年9月1日～2016年8月31日】



期首	期末	既払分配金	騰落率
15,772 円	14,686 円	0 円	-6.9%

(注1) 当ファンドにベンチマークはありません。

(注2) 分配を行っておりませんので分配金再投資基準価額は表示しておりません。

(注3) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の変動要因

当期は、投資先ファンドが TMA 長期投資ファンドを除いてすべて下落し、基準価額の下落の要因になりました。

日本株市場は、ドル円 120 円台から一時 90 円台まで円高基調に推移し、海外で活躍する企業の収益を圧迫したことで、組入れファンドの基準価額を下げる要因になりました。

米国株市場は指数がドルベースで前年比プラスで終わりましたが、年間を通して円高ドル安が進んだため、円ベースではマイナス要因になりました。

欧州株は指数がユーロベース、円ベース共に前年比マイナスで終わりました。しかしながら、組入れファンドの銘柄選択効果で市場を上回り、市場よりも小幅な下げにとどまりました。

新興国株市場は指数がドルベースで前年比プラスで終わりましたが、年間を通して円高ドル安が進んだため、円ベースではマイナス要因になりました。

## ○1 万口当たりの費用明細

(2015年9月1日～2016年8月31日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	147 円	0.974%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は 15,089 円です。
(投信会社)	(72)	(0.477)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(59)	(0.391)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(16)	(0.106)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
合計	147	0.974	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

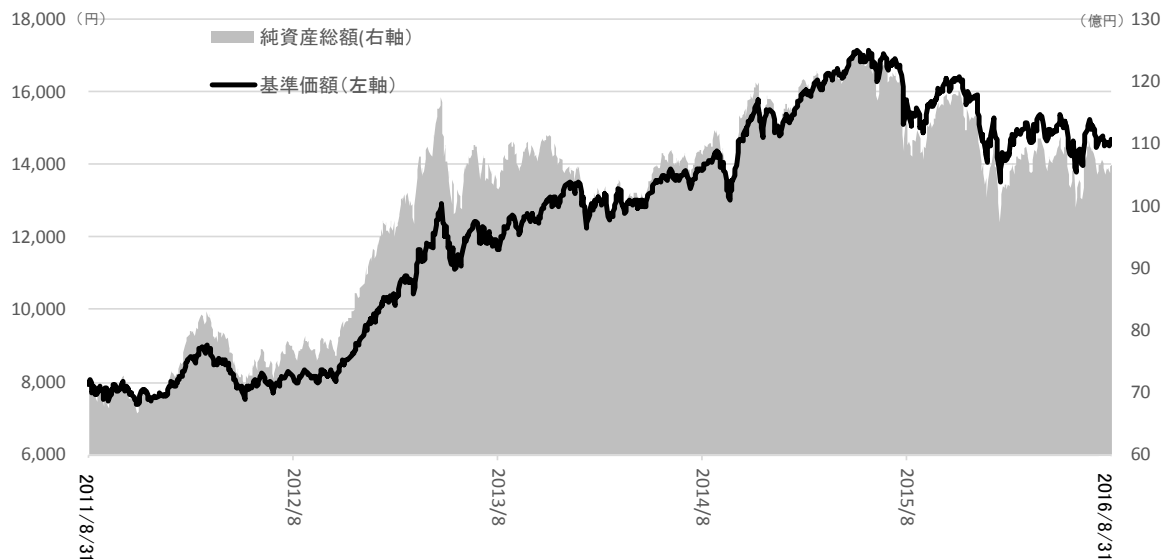
(注2) 各項目の費用は当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注3) 各項目ごとに円未満は四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入しています。

## ○最近5年間の基準価額等の推移

(2011年8月31日～2016年8月31日)



	2012年 8月31日決算日	2013年 9月2日決算日	2014年 9月1日決算日	2015年 8月31日決算日	2016年 8月31日決算日
基準価額 (円)	8,146	11,647	13,818	15,772	14,686
期間分配金合計 (税込) (円)	—	—	—	—	—
基準価額の騰落率 (%)	2.6	43.0	18.6	14.1	-6.9
純資産総額 (百万円)	7,681	10,261	10,825	11,337	10,667

(注1) 当ファンドの運用方針に適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を併記しておりません。

(注2) 当ファンドは分配金を出していませんので、分配金再投資基準価額の騰落率は表示しておりません。

(注3) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入しております。

(注4) 純資産総額の単位未満は切り捨てて表示しております。

## ○投資環境 (2015年9月～2016年8月)

当期の世界の株式市況は、中国の景気減速懸念などの調整の後 2015年9月にFRB（米連邦準備理事会）が利上げを見送ったことや、ECB（欧州中央銀行）が追加的な金融緩和を示唆したことなどを背景に持ち直す局面もありましたが、原油価格が大きく下げたことや、Brexit などの市場の予想と反するイベントがおこるなど、全体的に軟調に推移しました。

日本では、中国の景気減速などによる影響でリスクオフの環境下で当期が始まりました。2015年後半にかけて世界的な金融緩和環境を背景に、日本株式市場も持ち直す局面も見られましたが、原油価格が下げ止まらないことが嫌気され日本株式市場は軟調に推移しました。2016年1月には日銀金融政策決定会合にて、新たな追加緩和としてマイナス金利導入が決定され、導入直後は円安株高になりましたが、主に銀行業に対する収益圧迫懸念により、逆に円高株安に推移する結果になりました。その後、英国の欧州連合離脱を問う国民投票では市場の予想とは異なる離脱という結果になり、世界同時株安基調の中、日本株式市場も大きく値を下げ、円高も加速しました。世界経済が不透明さを増す中、各国当局の緊急対応の表明もあり日本株式市場は値を戻す展開になりましたが、円高基調は続きました。7月での日銀金融政策決定会合では、主にETFの買い付け額を約倍増の年間6兆円規模にするといった内容で、日本株式市場の下値を支える要因になりました。

米国では、FRBが9年半ぶりに利上げを実施し、株価は利上げを織り込んでいたため大きな影響はなく、どちらかというと年に何回利上げできるかという議論にその後株価は左右されました。米雇用統計をはじめとした各種経済指標の発表により利上げのタイミングをうかがう展開が続く中、米国株式市場は他市場に比べ堅調に推移しました。

ヨーロッパでは、当初中国をはじめとした新興国経済の減速懸念が高まり株価は軟調に推移していました。10月からECBが追加的な金融緩和を示唆したことなどによる株価の上昇局面も見られましたが、12月発表の追加金融緩和策が市場の予想を下回り、再び値を下げる展開になりました。2016年前半では、原油価格下落に伴う世界景気減速懸念、イタリアの銀行不良債権問題へ対する懸念、ドイツ銀行の信用不安などから下落しました。その後もBrexitなどリスクオフのイベントが起り、値を下げやすい環境が続きましたが、そのたびに追加金融緩和などにより値を戻す展開が見られました。

新興国では、序盤中国経済減速懸念が高まったことや、原油価格が下げ止まらない環境下で、資源輸出国に対する先行き不透明感が増し 2016年年初までは軟調な局面が多くありましたが、その後は原油など商品市況が反発に転じたことやFRBの利上げペースの後退が示唆されたことなどを背景に上昇基調に転じました。

## ○当ファンドのポートフォリオ

前期に引き続き、当期では一層の国際分散投資を進めました。

世界株式市場の時価総額比率などで国・地域別配分比率を考慮した際、当ファンドにおける現行の日本株保有比率が比較的高く、また度重なる追加緩和による市場の歪みを避けるために、日本株保有比率の高い社会貢献ファンドと TMA 長期投資ファンドを一部売却しました。また、金融関連銘柄・資源関連銘柄を多く保有する ALAMCO ハリスグローバルバリュース株ファンドを売買し、保有比率を下げました。

一方、新興国とヨーロッパを投資先としているニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドとニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドを買い増しました。両市場ともに足元のマクロ環境は依然厳しいですが、両市場の今後の経済成長性、EPS(1株当たり利益)の成長性を鑑みた場合、他の市場に比べて伸びしろが大きいと判断して買い増しました。また、キャピタル・グループ・インベストメント・カンパニー・オブ・アメリカ(旧キャピタル・グループ・USグロースアンドインカム・ファンド)についても買い増しました。

### (参考情報) 前期末とのファンド組入比率の比較

ファンド名	11 期末 組入比率	当期末 組入比率
ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンド	9.1%	21.8%
キャピタル・グループ・インベストメント・カンパニー・オブ・アメリカ (旧キャピタル・グループ・USグロースアンドインカム・ファンド)	15.3%	18.5%
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンド	7.8%	18.3%
TMA長期投資ファンド	18.4%	14.2%
社会貢献ファンド	17.5%	9.6%
キャピタル・グループ・エマージング・マーケット・トータル・オポチュニ ティーズ	6.8%	6.6%
ALAMCO ハリス グローバル バリュース株ファンド	6.8%	4.1%
組入ファンド数	7	7

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 小数点以下第2位を四捨五入しております。

(注3) ファンドの正式名称は交付目論見書をご参照ください。

(注4) キャピタル・グループ・USグロースアンドインカム・ファンドは2016年6月17日(投資先現地日付)をもってキャピタル・グループ・インベストメント・カンパニー・オブ・アメリカに統合されました。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。従って、当ファンドとベンチマーク（参考指数）との対比グラフは表示していません。

## ○分配金

基準価額の水準、市況動向等の諸々の状況を勘案し、前期に引き続き分配無しとさせて頂きました。なお、分配にあてず信託財産内に留保した利益につきましては、運用方針に基づいて運用致します。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

第12期 (2015年9月1日～2016年8月31日)	
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	6,133

(注) 当期の収益および当期の収益以外は、小数点以下を切捨てて表示しているため、合計した額が当期の分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

当ファンドは、リスクを抑えながら資産の長期的な成長を目指し、株式中心の投資方針を続けて参ります。国際的な分散投資を通して日本に限らず世界で活躍する成長企業の成長性を株価という形で享受できるよう、現時点で比較的高い円資産の比率を徐々に減らし、海外株式保有割合を増やしていきます。また丹念な企業調査に基づく伝統的な運用スタイルのファンドを厳選選別し組み入れていくことで、リスクを抑制いたします。

現行の各投資先ファンドのパフォーマンスを見直し、依然厳しいマクロ環境の中であっても成長が見込まれる企業を発掘できるファンドの新規組み入れを視野に入れています。



## お知らせ

### 当期中の約款変更について

当期中に実施した約款変更は以下の通りです。

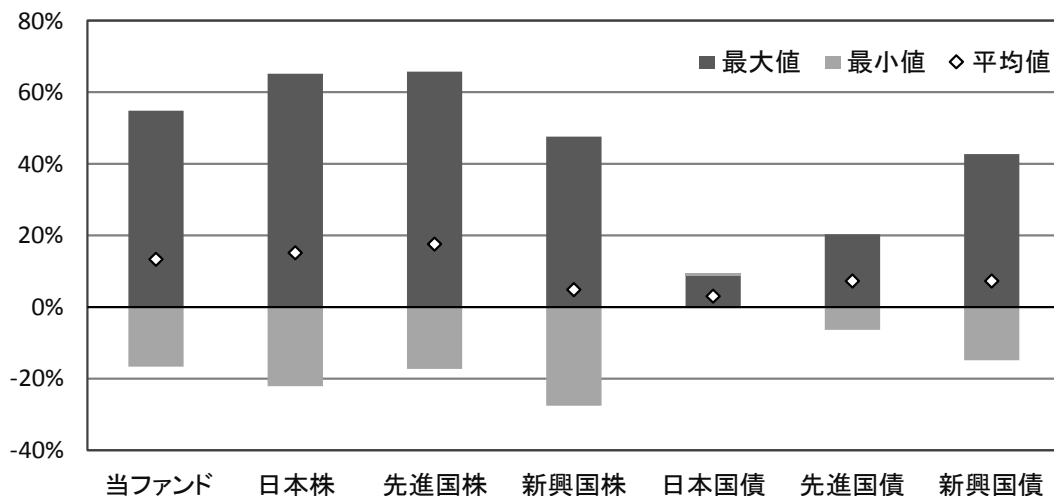
- ① 2015年11月30日 同一銘柄の投資信託証券への投資制限の変更  
一般社団法人投資信託協会の規則に則り、信用リスク集中回避のための投資制限を加える所要の変更を行いました。
- ② 2015年11月30日 当ファンドが投資を行う投資信託証券の変更（信託約款の附則）  
投資対象ファンドの変更に伴い、投資信託約款の附則に所要の変更を行いました。
- ③ 2016年1月4日 受益権の取得申込み及び信託の一部解約についての売買不可日設定  
ニューヨーク証券取引所の休業日及びルクセンブルクの銀行休業日にあたる場合は、売買不可日とする所要の変更を行いました。
- ④ 2016年5月31日 当ファンドが投資を行う投資信託証券の変更（信託約款の附則）  
投資対象ファンドの変更に伴い、投資信託約款の附則に所要の変更を行いました。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	無期限
運用方針	当ファンドは、投資家の方々の長期的な資産形成のお手伝いをさせていただくことを目的とし、複数のファンドに分散投資を行ない、信託財産の成長を計ることを目標として運用を行ないます。
主要運用対象	主として国内外の株式等を投資対象とする投資信託証券を投資対象とします。
運用方法	運用にあたっては、景気変動のサイクルに沿った、アセットアロケーションの切り替えを大前提とします。厳しい基準に基づいて選択されたファンドを活用し、景気サイクルのダイナミズムを先取りする形で、資産配分を行っていきます。運用成果については、特定のベンチマークを設けることはしません。 短期的な市場変動に惑わされることなく、長期的な資産の成長を目指して運用を行います。
分配方針	毎決算時に、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案し決定します。（分配を行わないこともあります。）分配金は税引後自動的に全額再投資されます。

## (参考情報) 当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2011年9月末～2016年8月末)



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	54.8	65.0	65.7	47.4	9.1	20.2	43.1
最小値	-16.5	-22.0	-17.5	-27.4	0.5	-6.2	-14.9
平均値	13.5	15.0	17.7	5.0	2.9	7.4	7.4

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2011年9月～2016年8月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

## 【各資産クラスの指数】

日本株 : TOPIX 配当込指数

先進国株 : MSCI Kokusai(World ex Japan) Index

新興国株 : MSCI EM(Emerging Markets) Index

日本国債 : バークレイズ・グローバル国債 : 日本インデックス

先進国債 : バークレイズ・グローバル国債 : G7 インデックス (ヘッジなし円ベース)

新興国債 : バークレイズ新興市場自国通貨建て国債インデックス (ヘッジなし円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

※上記指数はファクトセットより取得しています。

※代表的な資産クラスの騰落率はファクトセットのデータベースをもとに、ありがとう投信株式会社が計算しています。

TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。

MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

バークレイズ・グローバル国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、バークレイズに帰属します。

バークレイズ新興市場自国通貨建て国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、バークレイズに帰属します。

## 当ファンドのデータ

## ○組入資産の内容

(2016年8月31日現在)

組入ファンド	組入比率
ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンド	21.8%
キャピタル・グループ・インベストメント・カンパニー・オブ・アメリカ (旧キャピタル・グループ・USグロースアンドインカム・ファンド)	18.5%
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンド	18.3%
TMA長期投資ファンド	14.2%
社会貢献ファンド	9.6%
キャピタル・グループ・エマージング・マーケット・トータル・オポチュニティーズ	6.6%
ALAMCO ハリス グローバル バリュース株ファンド	4.1%
その他 (短期金融資産等)	6.9%
組入ファンド数	7銘柄

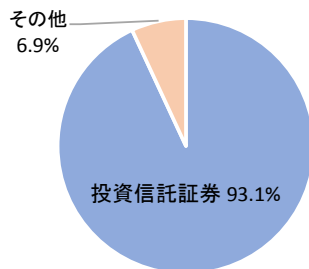
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては運用報告書(全体版)に記載されております。

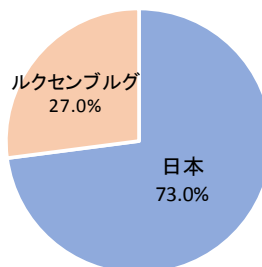
(注3) 小数点以下第2位を四捨五入しております。

(注4) ファンドの正式名称は交付目論見書をご参照ください。

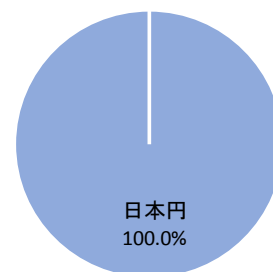
## ◆資産別配分



## ◆国別配分



## ◆通貨別配分



(注) 資産別・通貨別配分比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分(発行国基準)の比率はポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

## ○純資産等

項目	第12期末
	2016年8月31日
純資産総額	10,667,264,385円
受益権総口数	7,263,720,370口
1万口当たり基準価額	14,686円

(注) 期中における追加設定元本額は545,876,331円、同解約元本額は470,253,591円です。

## ○組入ファンドの概要

### 社会貢献ファンド（適格機関投資家専用）

#### ◆基準価額の推移



#### ◆組入ファンド (2015年9月24日現在)

	組入比率
ALAMCO 社会貢献マザーファンド	98.5%
その他（短期金融資産等）	1.5%
組入銘柄数	1銘柄

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

#### 【参考情報】ALAMCO 社会貢献マザーファンド

※社会貢献ファンドの実質的な投資先を明確にするために同ファンドが投資するマザーファンドの運用状況を掲載しております。

#### ◆組入上位10銘柄 (2015年9月24日現在)

	銘柄名	投資比率 (%)
1	ブロンコビリー	5.16
2	トヨタ自動車	5.08
3	サックスパー ホールディングス	4.82
4	三菱鉛筆	4.71
5	太陽ホールディングス	4.62
6	良品計画	4.54
7	オムロン	4.53
8	アークランドサービス	4.34
9	イーグル工業	3.75
10	東鉄工業	3.33
	組入銘柄数	36銘柄

(注1) 国別配分・通貨別配分は開示されておりません。

(注2) 組入上位10銘柄の投資比率は現物株式ポートフォリオに占める比率です。

(注3) 資産別配分は純資産総額に対する評価額の割合です。

#### ◆1万口当たりの費用明細

(2014年9月23日～2015年9月24日)

項	目	当期
(a)	信託報酬 ( 投信会社 ) ( 販売会社 ) ( 受託銀行 )	147円 ( 129 ) ( 4 ) ( 15 )
(b)	売買委託手数料 ( 株式 )	31 ( 31 )
(c)	その他費用 ( 監査費用 )	1 ( 1 )
	合計	179

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です（項目ごとに円未満は四捨五入しています。）。

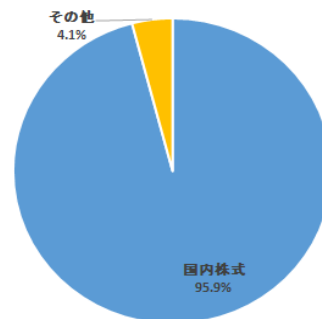
(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率

(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 / 期中の平均受益権口数

(c) 保管費用等 = 期中の保管費用等 / 期中の平均受益権口数

なお、売買委託手数料および保管費用等は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

#### ◆資産別配分



## TMA長期投資ファンド〈適格機関投資家限定〉

## ◆基準価額の推移



## ◆組入ファンド (2016年5月16日現在)

	組入比率
東京海上長期投資マザーファンド	100%
組入銘柄数	1銘柄

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

## ◆1万口当たりの費用明細 (2015年5月16日～2016年5月16日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	90 (76) (6) (9)	0.514 (0.433) (0.032) (0.049)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 * 委託した資金の運用の対価 * 運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 * 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (株式)	21 (21)	0.122 (0.122)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 * 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (株式)	1 (1)	0.008 (0.008)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 * 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用)  (監査費用) (その他)	3 (1) (1) (0)	0.015 (0.007) (0.008) (0.000)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 * 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 * 監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 * その他は、信託事務等に要する諸費用
合計	115	0.659	

期中の平均基準価額は、17,494円です。

- (注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入しています。
- (注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。
- (注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

## 【参考情報】東京海上長期投資マザーファンド

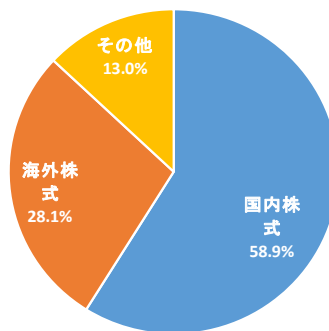
※TMA長期投資ファンドの実質的な投資先を明確にするために同ファンドが投資するマザーファンドの運用状況を掲載しております。

## ◆組入上位 10 銘柄

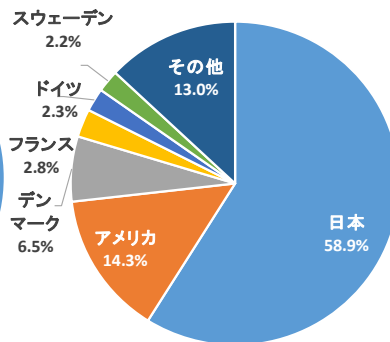
(2016年5月16日現在)

	銘柄名	通貨	国/地域	投資比率 (%)
1	キーエンス	日本円	日本	4.6
2	ニトリホールディングス	日本円	日本	4.3
3	関西ペイント	日本円	日本	4.0
4	ヤフー	日本円	日本	4.0
5	NOVOZYMES A/S-B SHARES	デンマーク・クローネ	デンマーク	3.6
6	エムスリー	日本円	日本	3.5
7	CHURCH & DWIGHT CO INC	米ドル	アメリカ	3.4
8	アサヒグループホールディングス	日本円	日本	3.3
9	COGNIZANT TECH SOLUTIONS-A	米ドル	アメリカ	3.3
10	信越化学工業	日本円	日本	3.2
組入銘柄数				30銘柄

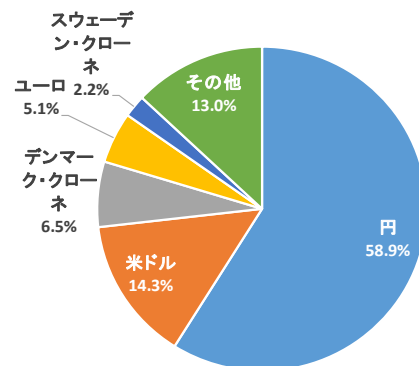
## ◆資産別配分



## ◆国別配分



## ◆通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

## ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA (適格機関投資家限定)

## ◆基準価額の推移



## ◆組入ファンド

(2015年12月25日現在)

	組入比率
ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ マザーファンド	99.5%
その他 (短期金融資産等)	0.5%
組入銘柄数	1銘柄

(注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

## ◆1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2014/12/26～2015/12/25		
	金額	比率	
平均基準価額	18,245 円		期中の平均基準価額です。
(a)信託報酬	197 円	1.080%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(a) (投信会社)	(118)	(0.648)	委託した資金の運用の対価
(b) (販売会社)	(59)	(0.324)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(c) (受託会社)	(20)	(0.108)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	17	0.092	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株主)	(17)	(0.092)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	14	0.078	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(株主)	(14)	(0.078)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	12	0.066	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(b) (保管費用)	(11)	(0.060)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(c) (監査費用)	(1)	(0.007)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他1)	(0)	(0.000)	・外国株式に関する各種手数料等
合計	240	1.316	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【参考情報】 ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ マザーファンド

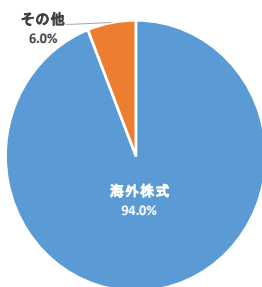
※ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSAの実質的な投資先を明確にするために同ファンドが投資するマザーファンドの運用状況を掲載しております。

◆組入上位 10 銘柄

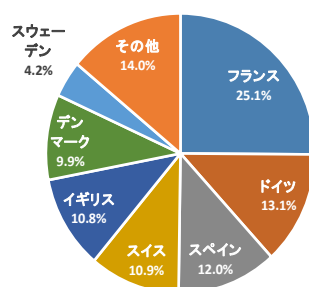
(2015年12月25日現在)

	銘柄名	通貨	国/地域	投資比率(%)
1	INDITEX	ユーロ	スペイン	6.2
2	AMADEUS IT HOLDINGS SA	ユーロ	スペイン	5.8
3	ESSILOR INTERNATIONAL	ユーロ	フランス	4.3
4	WIRECARD AG	ユーロ	ドイツ	4.3
5	SARTORIUS STEDIM BIOTECH	ユーロ	フランス	4.2
6	COLOPLAST -B	デンマーククローネ	デンマーク	4.1
7	DASSAULT SYSTEMES SA	ユーロ	フランス	4.0
8	ARM HOLDINGS PLC	英ポンド	イギリス	3.9
9	BAYER AG-REG	ユーロ	ドイツ	3.8
10	NOVO NORDISK A/S-B	デンマーククローネ	デンマーク	3.5
組入銘柄数				36銘柄

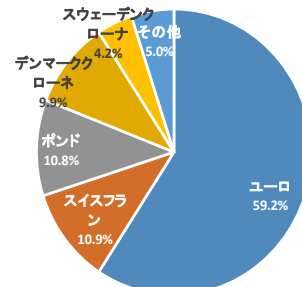
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国は、コムジェストSAの判断によります。



## ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA (適格機関投資家限定)

## ◆基準価額の推移



## ◆組入ファンド

(2015年12月25日現在)

	組入比率
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド	99.5%
その他 (短期金融資産等)	0.5%
組入銘柄数	1銘柄

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

## ◆1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2014/12/26 ~ 2015/12/25		
	金額	比率	
平均基準価額	15,499 円		各期中の平均基準価額です。
(a)信託報酬	167 円	1.080%	(a)信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(100)	(0.648)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(50)	(0.324)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(17)	(0.108)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b)売買委託手数料	24	0.152	(b)売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株式)	(24)	(0.152)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c)有価証券取引税	10	0.064	(c)有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷各期中の平均受益権口数
(株式)	(10)	(0.064)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d)その他費用	27	0.176	(d)その他費用=期中のその他費用÷各期中の平均受益権口数
(保管費用)	(20)	(0.132)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.008)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他1)	(2)	(0.015)	・外国株式に関する各種手数料等(ADR 手数料や税務代理人費用等)
(その他2)	(3)	(0.022)	・インド株式におけるキャピタルゲイン課税等
合計	228	1.472	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【参考情報】ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド

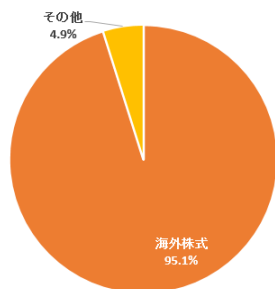
※ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSAの実質的な投資先を明確にするために同ファンドが投資するマザーファンドの運用状況を掲載しております。

◆組入上位 10 銘柄

(2015 年 12 月 25 日現在)

	銘柄名	通貨	国/地域	投資比率(%)
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	米ドル	台湾	7.0
2	CHINA LIFE INSURANCE CO-H	香港ドル	中国	6.3
3	CHINA MOBILE LTD	香港ドル	中国	5.5
4	NETEASE INC ADR	米ドル	中国	4.8
5	INFOSYS LTD-SP ADR	米ドル	インド	4.2
6	PING AN INSURANCE GROUP CO-H	香港ドル	中国	4.2
7	CKH HOLDINGS	香港ドル	香港	4.0
8	POWER GRID CORP OF INDIA LTD	インドルピー	インド	3.6
9	SANLAM LTD	南アフリカランド	南アフリカ	3.6
10	MTN GROUP LTD	南アフリカランド	南アフリカ	3.4
組入銘柄数				38 銘柄

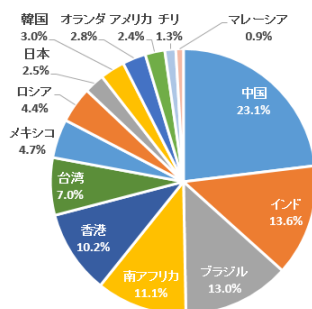
◆資産別配分



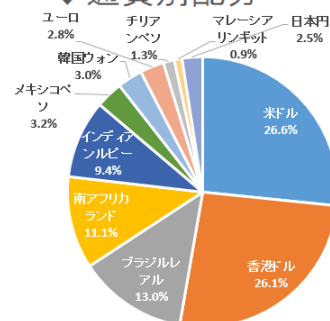
(注1) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国は、コムジェストSAの判断によります。

◆国別配分



◆通貨別配分



ALAMCO ハリス・グローバル バリューストックファンド 2007 (適格機関投資家専用)

◆基準価額の推移



(注) 期末基準価額は分配金込で計算しております。

◆組入ファンド

(2016年3月9日現在)

	組入比率
ALAMCO ハリス・グローバル バリューストックマザーファンド	98.7%
その他 (短期金融資産等)	1.3%
組入銘柄数	1銘柄

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

◆1万口当たりの費用明細

(2015年3月10日～2016年3月9日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬 ( 投信会社 ) ( 販売会社 ) ( 受託会社 )	170 (131) (29) (10)	1.404 (1.080) (0.238) (0.086)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 ( 株式会社 )	5 (5)	0.037 (0.037)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際に支払う手数料です。
(c) 有価証券取引税 ( 株式会社 )	3 (3)	0.022 (0.022)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金です。
(d) その他費用 ( 保管費用 ) ( 監査費用 ) ( その他 )	10 (10) (1) (0)	0.084 (0.079) (0.005) (0.000)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用です。 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用です。 信託事務の処理等に関するその他費用
合計	188	1.547	
期中の平均基準価額は、12,127円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 【参考情報】ALAMCO ハリス・グローバル バリューストックマザーファンド

※ALAMCO ハリス・グローバル バリューストックマザーファンド 2007 の実質的な投資先を明確にするために同ファンドが投資するマザーファンドの運用状況を掲載しております。

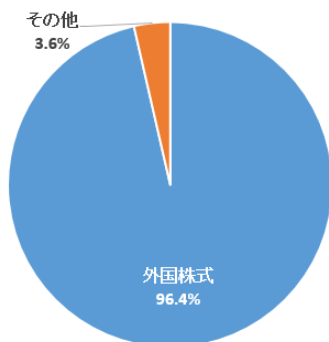
## ◆組入上位 10 銘柄

(2016年3月9日現在)

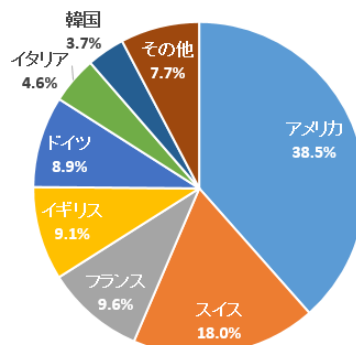
	銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国(地域)	比率 %
1	BNP PARIBAS	銀行	ユーロ	フランス	5.9
2	GLENCORE PLC	素材	英ポンド	イギリス	5.3
3	DAIMLER AG-REG	自動車・自動車部品	ユーロ	ドイツ	4.9
4	CNH INDUSTRIAL NV	資本財	ユーロ	イタリア	4.6
5	LAFARGEHOLCIM LTD	素材	スイスフラン	スイス	4.6
6	CREDIT SUISSE GROUP AG-REG	各種金融	スイスフラン	スイス	4.5
7	GENERAL MOTORS CO	自動車・自動車部品	米ドル	アメリカ	4.2
8	AMERICAN INTERNATIONAL GROUP	保険	米ドル	アメリカ	4.0
9	JULIUS BAER GROUP LTD	各種金融	スイスフラン	スイス	4.0
10	ALLIANZ SE	保険	ユーロ	ドイツ	4.0
組入銘柄数			34銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

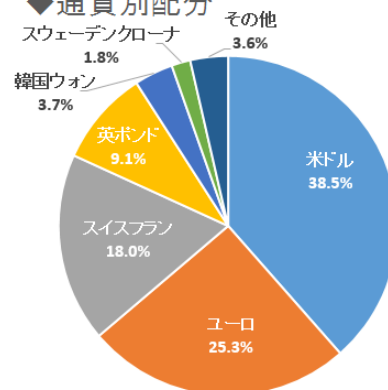
## ◆資産別配分



## ◆国別配分



## ◆通貨別配分



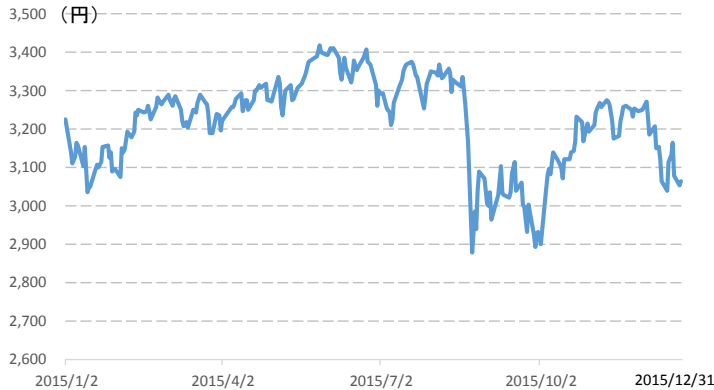
(注1) 組入上位 10 銘柄の投資比率は現物株式ポートフォリオに占める比率です。

(注2) 資産別配分、国別配分、通貨別配分は純資産総額に対する評価額の割合です。

## キャピタル・グループ・USグロースアンドインカム・ファンド（ルクセンブルグ籍円建外国投資法人）

※キャピタル・グループ・USグロースアンドインカム・ファンドは2016年6月17日（投資先現地日付）をもってキャピタル・グループ・インベストメント・カンパニー・オブ・アメリカに統合されました。

### ◆基準価額の推移



### ◆費用明細

販売手数料	信託財産留保金	信託報酬(年率)
なし	なし	0.75%

### ◆組入上位10銘柄

(2015年12月31日現在)

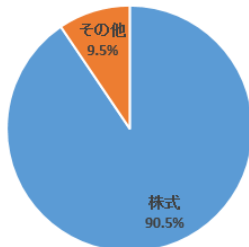
	銘柄名	投資比率 (%)
1	Amgen Inc.	5.70
2	Verizon Communications Inc.	4.51
3	Oracle Corporation	3.71
4	Philip Morris International Inc.	3.06
5	Altria Group, Inc.	2.82
6	ConocoPhillips	2.62
7	Coca-Cola Company	2.55
8	UnitedHealth Group Incorporated	2.40
9	Norfolk Southern Corporation	2.40
10	Accenture Plc	2.39

(注1) 通貨別配分は開示されておりません。

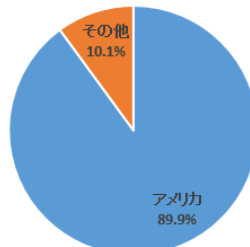
(注2) 組入上位10銘柄の投資比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 資産別配分、国別配分は純資産総額に対する評価額の割合です。

### ◆資産別配分



### ◆国別配分



キャピタル・グループ・エマージング・マーケット・トータル・オポチュニティーズ（ルクセンブルグ籍円建外国投資法人）

◆基準価額の推移



◆費用明細

販売手数料	信託財産留保金	信託報酬(年率)
なし	なし	0.875%

◆組入上位 10 銘柄

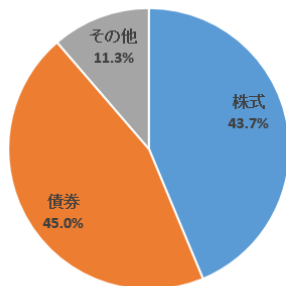
(2016年3月31日現在)

	銘柄名	種別	投資比率 (%)
1	Mexico Government	メキシコ国債	6.4
2	India Government	インド国債	4.7
3	Argentina Government	アルゼンチン国債	3.6
4	Turkey Government	トルコ国債	3.2
5	Brazil Government	ブラジル国債	2.6
6	Petroleos Mexicanos	債券(メキシコ)	2.4
7	Taiwan Semiconductor Manufacturing Co. Ltd.	株式(台湾)	2.4
8	Colombia Government	コロンビア国債	2.0
9	Minh Group Ltd.	株式(中国)	1.6
10	US Treasury	米国債	1.5

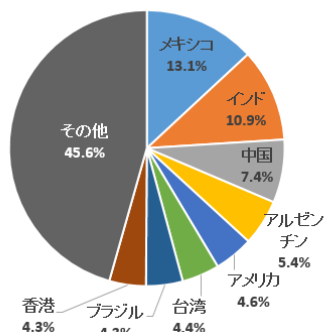
(注1) 組入上位 10 銘柄の投資比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 資産別配分、国別配分、通貨別配分は純資産総額に対する評価額の割合です。

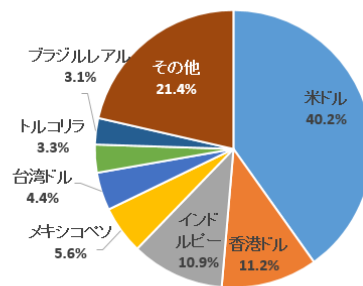
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



## 直接販売状況

2016年8月31日決算日現在 有効口座数（※）4,883 口座 ※決算日現在残高のないお客様も含みます。

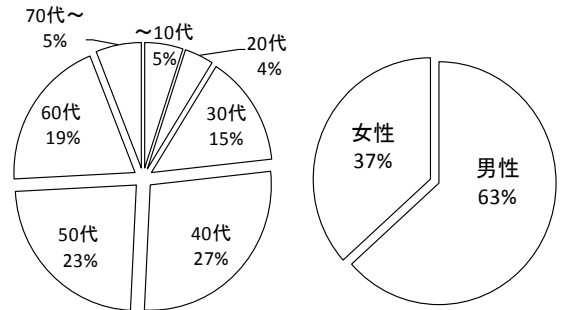
当期末現在で口座数が4,883口座（内法人26口座）となりました。一人当たりの平均保有残高は2,184千円です。当期間の新規口座開設件数は189口座でした。前期に引き続き、「本・新聞等を見て」や「家族・知人の紹介」を口座開設のきっかけとされる方が多くを占めております。一方、一定期間取引の無いお客様の口座閉鎖手続やファンドの売却と共に口座閉鎖手続きをされたことによる口座数減少は158口座となりました。

### ◆お客様の特徴

年代別では、40代のお客様が27%と最も多く、40代から60代のお客様が全体の約7割となっております。

### ◆ファンド設定・解約の状況

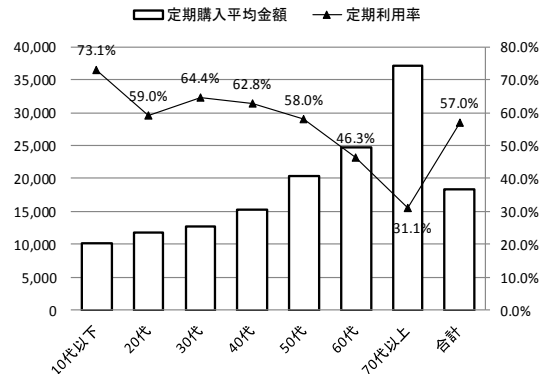
第12期においては、設定金額が819百万円、解約金額が712百万円となり、金額ベースで純流入となりました。主な要因としては、前期に比べて基準価額が下落した中、コツコツと定期積立サービスでファンドを購入されるお客様が半数以上いたことが要因であると考えられます。また、ありがとうファンドの純資産額は、期中平均108億円となりました。



### ◆定期積立サービス

当サービスをご利用されているお客様の割合は57.0%（分母：有効口座数）。一人当たりの定期購入金額平均は18,316円でした。

相場の変動に踊らされないためにも、時間分散による継続投資を、お客様の年齢問わず推奨しております。インフレから資産を守る観点からも、長期継続投資は重要だと考えております。お客様のお好きなタイミングで購入する「スポット購入」と合わせて、ファンドを数回に分けて購入する「分けて買いプラン」、毎月コツコツ投資していく「定期積立サービス」をどうぞご活用ください。



### ◆運用状況を随時お伝えしております。

毎月月上旬発行の月次レポート以外にも、ありがとうファンドの特徴や運用状況をお伝えするセミナーを定期的に開催しております。今後も引き続き情報発信を積極的に行って参ります。



Arigato Asset  
Management inc.